

# 工事成績報告書（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）

作成日

工事名		完成年月日		検査番号																	
工事場所		完成検査年月日																			
受注者		工期	から	工事担当課																	
請負代金額	円		まで	工種																	
考 査 項 目	担当監督員 職氏名	総括監督員 職氏名			検査員 職氏名																
考查項目	細 別	a	b	c	d	e	a	a`	b	b`	c	d	e	a	a`	b	b`	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般																				
	II. 配置技術者																				
2. 施工状況	I. 施工管理																				
	II. 工程管理																				
	III. 安全対策																				
	IV. 対外関係																				
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形																				
	II. 品質																				
	III. 出来ばえ																				
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2																				
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3																				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※4																				
加減点合計（1+2+3+4+5+6）		0.0 点					0.0 点					0.0 点									
評定点（65点±加減点合計） ※1		① 65.0 点					② 65.0 点					③ 65.0 点									
7. 評定点計		65 点					（ ① 65.0 点 × 0.4 + ② 65 点 × 0.2 + ③ 65.0 点 × 0.4 ） =					65 点									
8. 法令遵守等 ※7							0 点														
9. 評定点合計 ※8		65 点					7. 評定点計 65.0 点 - 8. 法令遵守 0 点 =					65 点									
所 見	※5	（担当監督員）					（総括監督員）					（検査員）									

※1 1～3の評価(65点±加減点合計)+4～6の評価(加減点合計)=評定点 各評価点(①～③)は小数第1位までとする。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、困難な作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加減点評価のみとする。

※5 所見は必ず記載する。

※6 各考查項目ごとの採点根拠は原則として、別紙考查項目別運用表による。また、完成検査時の検査員評定に先立ち監督員・総括監督員が記入する。

※7 法令遵守等の評価は、総括監督員が行い、減点評価のみとする。

※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。